



佐賀近代医学教育公開シンポジウムのご案内

開催日時：2025.12.7(日) 14:00～16:40

近代日本の医学制度は佐賀人がつくった？

わが国近代医学制度の枠組みは、明治7年8月18日公布の「医制」から整えられました。医師の国家資格試験制度、西洋医学（ドイツ医学）の導入、医薬分業など、わが国の近代医薬制度のすすむべき道筋が提示されました。この「医制」を立案したのは、最新の研究によって、佐賀藩出身の相良知安らと第一大学区医学校（のちの東京大学医学部）チームであることが判明しました。

相良知安らが、なぜ全国の「医制」を立案できたのかを解くカギは、佐賀藩医学校好生館における西洋医学教育のあり方にあるのではないかと考え、今回の公開シンポジウムを企画しました。参加された方々とともに、佐賀の医学教育の先進性を考えます。どなたでも参加できます。お誘いあわせてお出かけ下さい。

◆会場

佐賀大学経済学部4号館 1階145番教室

〒840-8502 佐賀県佐賀市本庄町1

〔 美術館横の正門横駐車場入り口から入り、
P 駐車場右奥の建物の1階です。
車の場合、最初の1時間無料、あと1時間ごとに100円です。〕

◆日程

令和7年12月7日(日) 14:00～16:40

主催

佐賀大学地域学歴史文化研究センター、佐賀医学史研究会、
科研費「佐賀県近代医学教育成立に関する基礎的研究」チーム

後援

佐賀県医療センター好生館、佐賀県、佐賀市、
佐賀県医師会、佐賀新聞社

会場：経済学部4号館1階



シンポジウム次第

- 14:00～14:10 開会行事 総合司会：相良 隆弘（佐賀医学史研究会理事）
- 14:10～14:40 青木 歳幸「佐賀藩医学教育の先進性」
- 14:40～15:10 小澤 健志「佐賀藩好生館蔵書のなかからみえるもの」
- 15:10～15:20 （休憩）
- 15:20～15:50 南里 早智子「好生館に学んだ医師たちの修学履歴」
- 15:50～16:00 （休憩）
- 16:00～16:40 シンポジウムテーマ：「近代医学の成り立ちと好生館の先進性」
コーディネーター：樋木 等（佐賀県医療センター好生館理事長）
パネリスト：青木 歳幸、小澤 健志、南里 早智子

入場無料

◎同日13:15～13:35まで、同一場所において佐賀医学史研究会2025年度総会が開かれます。

会員の皆さん、お早めにおでかけください。